

第18回 CAOS 21の会参加印象記

岡田眼科
副院長
宮田 信之



第1日目

今年は富士市でご開業されている杉浦先生のクリニックからのスタートとなりました。新富士駅から一番暑いお昼過ぎに、全国からいらした熱い先生方と一緒に荷物をごろごろ引っ張りながら歩く集団に入り、今年も来たなあ～と実感しました。熱い中歩いて着いた先是、「愛と癒しのクリニック」杉浦眼科でした。



まずは白内障6例を「Central Divider」という杉浦先生の開発された器具で見事に核分割され、効率よく手術をされていました。

最後の症例は眼内レンズ縫着術で、今年 ASCRS で1位を受賞されたやはり、これも杉浦先生の開発された器具「Ciliary Sulcus Pad Injector」を使用して縫着をするという方法で、確実に毛様溝に通糸されていました。内視鏡で確認してみると理論どおり入っているのを見て、みんなさらに驚いた次第です。

症例検討会では、通常の永原先生のフェイコチョップとの違いについて説明を受け、私も感動して細川さんにその場で Central Divider をお願いしてしまいました。

縫着については杉浦先生が15年前から取り組んでこられ、これまでのデータに基づいて

開発された器具で、私も今年の ASCRS に参加してよく存じておりましたので、1位を受賞されたこの方法を、今回ライブ手術で見せていただいたので感動もひとしおでした。

あと今一番話題の OZIL の問題点、創口への負担、内皮への影響などを教えて頂き、皆いろいろ考えさせられました。

最後に杉浦先生のポリシー、「医療は愛である！癒しの医療」を目指していらっしゃることに皆、心が洗われるようでした。



第2日目

2日目はこの会特有の早起きで7時30分にホテルに集合して、新幹線で横浜に行き、前 CAOS 世話人代表の稻村先生の稻村眼科クリニックを訪問させて頂きました。

白内障 22 例を今話題の OZIL と稻村先生の開発されたイーグルチョッパーを使用した白内障手術を一人ずつ、運がよい人は 2 回、最新の顕微鏡 V I S U210 の助手顕で見せて頂きました。最後は硬い核の患者を入れて戴き、この硬い核に対して OZIL を使用して難なく手術を終え、OZIL のすばらしさを見せて頂きました。



症例検討会では閉塞時の特別設定モードや内皮を考え、眼内でスリープの向きを変えていたなどという達人の秘技！についても教えて頂き、一同感動しました。

白内障 22 例と多くの症例を手術するには、普通せわしなくなるのですが、とても静かにゆっくりと 1 日が流れしていく感じがして稻村先生の仁徳が伝わってくるようでした。



夜の懇親会はパンパシフィックホテル 25 階で横浜のベイブリッジを見ながら楽しく、トゥーランドットに舌鼓を打ちながら美味しく頂きました。



2 次会はすぐ近くの万葉の湯という湯河原・熱海から直送の温泉を入れているお風呂に入り、皆で屋上の足湯に浸かりながら、きれいな夜景を眺め、いろいろなお話がてきて思い出に残る会となり良かったです。

稻村先生には白内障をはじめた当初よりご指導頂き、こんなすばらしい先生が自分のいる横浜に開業されて本当によかったと思いました。

今回は白内障が中心で皆さん生き生きとされていました。やはり Phaco の発展とともにある会であることを感じました。

第 3 日目

3 日目も同じく早く、7 時半に集合して新宿のホテルの講演会場へ行きました。

午前中、参天製薬経営研究室の土谷室長、久保様から「患者満足度アンケート」についてお話をありました。

患者さんの期待していることと医師の説明に微妙にずれのあることをご指摘頂きました。患者さんは術後の見え方に強い関心があるのですが、医師の方は手術の方法と手術時間についてよく話していました。満足度について一番影響があるのは医師とのコミュニケーションが一番大事だと指摘され、当たり前のことですが、明日からの診療にまた、新たな気持ちで向かおうと思いました。



午後は八王子の近藤義之先生の近藤眼科グループ2施設を訪問見学させて頂きました。



その後「多施設経営の現状と工夫」について講演をしていただきました。点ではなく多施設で面として大きな診療圏をとり、お互いに連絡をとりながら効率よくやっていくというもので、言うのは簡単ですが、近藤先生のお人柄でなければできないと思いました。組織をつくり、人を信頼して仕事をまかせ、自分は医師としての仕事に専念するという理想を現実にしたやり方に感動いたしました。

懇親会では CAOS ならではの聞きにくい本音の質問に対して本音で答えて頂き、とても盛り上りました。



私にとっては今回も大変得るものが多くあり、これから診療に役立てたいと思いました。
代表世話人の禰津直久先生、(株)ジャックス代表取締役 細川保社長を始め社員の皆様、例年のことながら大変お世話になりました。

また来年もよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。